

令和4年度生涯学習関係事業報告書

第2期久喜市教育振興基本計画

[平成30年度～令和4年度]

基本目標4 人権を尊重した教育の推進

- 【施策1】PTA・児童生徒・教職員に対する人権教育の推進
- 【施策2】家庭・地域における人権教育の推進
- 【施策3】企業・事業者に対する人権教育の推進

基本目標5 豊かな生き方を築く生涯学習の推進

- 【施策1】多彩な生涯学習機会の提供
- 【施策2】保護者の交流機会の提供・支援
- 【施策3】生涯学習環境の整備・充実
- 【施策4】公民館活動の充実
- 【施策5】図書館サービスの充実
- 【施策6】市民大学・高齢者大学の充実
- 【施策7】放課後子ども教室の推進

基本目標6 歴史・文化の継承と活用

- 【施策1】文化芸術団体の育成・支援
- 【施策2】文化芸術活動等の充実
- 【施策3】地域文化資源の発掘
- 【施策4】文化財の保存・継承
- 【施策5】文化財の活用
- 【施策6】郷土資料館の充実

基本目標7 生涯にわたるスポーツ・レクリエーション活動の充実

- 【施策1】スポーツ・レクリエーション施設の充実
- 【施策2】スポーツ・レクリエーション活動への参加機会の充実
- 【施策3】スポーツ・レクリエーション活動を通じた市民交流の促進
- 【施策4】スポーツ・レクリエーション団体の育成・支援

令和4年度生涯学習関係事業報告書

第2期久喜市教育振興基本計画[平成30年度～令和4年度]

基本目標 4 人権を尊重した教育の推進
 施策 1 PTA・児童生徒・教職員に対する人権教育の推進

具体的施策	連番	取組み	担当課	取組み内容	成果	課題
PTA等への人権教育研修の開催	1	PTA等に対して人権教育研修の開催 (13年目)	生涯学習課	PTA等の人権意識の高揚を図るため、人権教育研修会を開催しました。 (4回開催)	PTA人権教育研修会を6月、8月、11月、1月に合計4回開催し、子どもの人権、新型コロナウイルスによる偏見差別、インターネットの人権問題などをテーマとして実施しました。 (参加者数合計:261人)	コロナ禍での開催であるため、会場の定員を半数以下に制限して実施したこともあり、コロナ禍以前の開催に比べ参加者数は減少しています。

基本目標 4 人権を尊重した教育の推進
 施策 2 家庭・地域における人権教育の推進

具体的施策	連番	取組み	担当課	取組み内容	成果	課題
教育集会所事業の充実	2	各種教室・講座、交流事業の実施 (13年目) ※各種教室・講座については、合併後の取組み年数 ※交流事業については、10年目	生涯学習課	教育集会所において、小学生から成人・高齢者までを対象とした各種教室・講座、交流事業を実施しました。 (参加者目標 野久喜集会所1,580人、内下集会所490人)	新型コロナウイルス感染症対策を講じたうえで、各種教室・講座や教育集会所交流事業等を実施し、地域住民の人権意識の高揚、地域住民相互の交流を図ることができました。 (参加者数:野久喜集会所875人、内下集会所190人)	令和4年度は、概ね予定どおりの事業実施ができていますが、新型コロナウイルス感染症の影響で、多くの参加者が集まるような事業は実施はできておりません。

基本目標 4 人権を尊重した教育の推進
 施策 3 企業・事業者に対する人権教育の推進

具体的施策	連番	取組み	担当課	取組み内容	成果	課題
人権教育講座の開催	3	企業・事業者を主な対象とし、人権教育指導者の養成を図るため、人権教育講座の開催 (13年目)	生涯学習課	企業・事業者を主な対象とし、人権教育指導者の養成を図るため、人権教育講座を開催しました。 (1回開催)	令和5年2月3日、久喜総合文化会館小ホールにて社会人権教育指導者養成講座を開催し、195名の参加があり、人権問題に対する正しい理解と認識を深め、差別意識の解消を図ることができました。	人権問題に対する正しい理解と認識を深め、差別意識の解消について、企業・事業者が自らの事業所内で人権教育に取り組んでいけるようにしていく必要があります。

令和4年度生涯学習関係事業報告書

第2期久喜市教育振興基本計画[平成30年度～令和4年度]

基本目標 5 豊かな生き方を築く生涯学習の推進
 施策 1 多彩な生涯学習機会の提供

具体的施策	連番	取組み	担当課	取組み内容	成果	課題
生涯学習の機会の充実	4	子ども大学くきの実施 (11年目)	生涯学習課	平成国際大学や久喜青年会議所と連携して、子どもの知的好奇心を刺激する学びの機会を提供しました。 令和4年度参加者数 ・4年生:20人 ・5年生:15人 ・6年生:11人	平成国際大学での講義や小物作り等、小学校では体験できない学びの機会を提供することができました。	子どもの知的好奇心を満足させる学びの機会を提供するため、学習プログラムを検討していく必要があります。
市民大学・高齢者大学の充実	5	市民大学講座の充実 (28年目)	生涯学習課	久喜市の歴史や文化、環境等についての講座をはじめ、特別講座として、学長・副学長の講話や生涯学習のリーダー育成のためのボランティア体験、学生が自ら企画する企画講座等を実施しました。 令和4年度卒業生数・修了者数 ・1学年:11名 ・2学年:14名	・生涯学習活動やボランティア活動を通じて、地域コミュニティづくりの担い手及びリーダーとしての素養を高めることができました。 ・令和4年度からは、鷲宮総合支所5階に整備した生涯学習施設を主会場として、講座を実施しました。	・更なる学習の充実に向けて、学生の意見を取り入れ、講座の再編を検討していく必要があります。 ・入学者数が減少傾向にあるため、市民への周知方法を検討し、学生数の増加につなげていく必要があります。
	6	高齢者大学講座の充実 (44年目)	生涯学習課	食生活や体力づくり、環境問題、介護問題など実生活に即した講座や、趣味活動や社会参加による生きがいを高めるような講座を実施しました。 令和4年度卒業生数・修了者数 ・1学年:41名 ・2学年:28名 ・3学年:44名 ・4学年:41名	・学生の実生活に即した学習の機会を提供し、仲間づくりや生きがいづくりを支援することができました。 ・令和4年度からは、鷲宮総合支所5階に整備した生涯学習施設と中央公民館を主会場として、講座を実施しました。	・更なる学習の充実に向けて、学生の意見を取り入れ、講座の再編を検討していく必要があります。 ・入学者数が減少傾向にあるため、市民への周知方法を検討し、学生数の増加につなげていく必要があります。
	7	学校行事(体育祭、作品展示会、音楽芸能祭等)の充実 (44年目)	生涯学習課	グラウンドゴルフ大会、体育祭、音楽芸能祭、作品展示会を実施し、学生相互の交流、連帯感を図りました。	新型コロナウイルス感染症対策を講じて、すべての学校行事(グラウンドゴルフ大会、体育祭、音楽芸能祭、作品展示会)を実施することができました(体育祭は3年ぶりに実施)。	学生の意見を尊重するとともに、役割分担を適切に行っていく必要があります。

令和4年度生涯学習関係事業報告書

第2期久喜市教育振興基本計画[平成30年度～令和4年度]

基本目標 5 豊かな生き方を築く生涯学習の推進
 施策 4 公民館活動の充実

具体的施策	連番	取組み	担当課	取組み内容	成果	課題
公民館事業の充実	8	公民館主催事業の実施 (13年目)	生涯学習課 (公民館事業推進室)	公民館主催事業として62事業を実施し、6,133人の参加がありました。 (中央公民館8事業1,393人、青葉公民館7事業267人、南公民館5事業207人、西公民館9事業702人、東公民館7事業1,047人、森下公民館8事業254人、栗橋公民館11事業1,641人、鷲宮公民館7事業622人)	・各公民館が特色ある事業を実施することで、市民の教養を向上させ、健康の増進、情操の純化を図り、生活文化の振興に寄与することができました。 ・新型コロナウイルス感染症の影響下ではありましたが、必要な感染防止対策をとったうえで可能と考えられる事業を実施したところ、昨年度に比べて事業数はおよそ1.4倍、参加者はおよそ1.6倍の増加となりました。	各公民館単位で事業を企画し実施するため、同種の事業を同時期に行わないよう、調整を図る必要があります。
	9	久喜市公民館連絡協議会主催事業の実施 (13年目)	生涯学習課 (公民館事業推進室)	・公民館連絡協議会主催事業として、2事業を実施しました。 ・市民企画事業として、1事業を実施しました。	・各公民館の館長並びに運営委員の代表委員からなる公民館連絡協議会が主催する共同事業を実施することで、各公民館の枠を超えた事業を参加者に提供することができました。 ・従来の提供型事業ではなく、市民が自ら企画、運営する事業を実施することで、生涯学習を身近に感じるとともに地域づくりへの参加の場を提供することができました。	市民企画事業募集に関する周知方法について、さらに多くの応募が集まるよう工夫が必要です。
公民館運営の充実	10	公民館施設・設備改修工事等の実施 (13年目)	生涯学習課 (公民館事業推進室)	平成30年度に、令和5年度までの5か年計画として見直しを行った各公民館の修繕計画を、老朽化や不具合の進行具合、また公共施設個別施設計画で示された各公民館のコミュニティセンター化に合わせ一部修繕内容の変更を行い、修繕計画の方向性を検討しました。	現時点における各公民館の修繕計画を把握することにより、公民館全体として、今後の大規模改修を要する施設及び修繕内容について緊急性や優先度合いを検討し、予算要求に反映することができました。	コミュニティセンターへの転用後も利用者が安全で快適に施設を利用できるよう、現在の各公民館の修繕計画の見直しを定期的に行う必要があります。
	11	市民が利用しやすい管理運営の充実 (13年目)	生涯学習課 (公民館事業推進室)	各公民館において、施設の適正な管理のための業務委託や物品の賃貸借を行いました。 生涯学習や地域活動の情報提供、窓口や電話での相談の対応、備品の貸出等を行いました。	・利用者が公民館を快適に利用できる環境を維持・管理することができました。 ・市民や利用者の相談に対し、職員や公民館補助委員が適切に対応することができました。	施設の老朽化等に伴い、業務委託の内容等を従来以上に精査する必要があります。 備品の経年による損耗が見られることから、適宜補充する必要があります。
公民館の適正配置の検討	12	公民館の適正配置の検討 (13年目)	生涯学習課 (公民館事業推進室)	なし	なし	教育委員会の中だけにとどまらず、市長部局の各課とも、部局の枠を超えて検討していく必要があります。

令和4年度生涯学習関係事業報告書

第2期久喜市教育振興基本計画[平成30年度～令和4年度]

基本目標 5 豊かな生き方を築く生涯学習の推進
 施策 5 図書館サービスの充実

具体的施策	連番	取組み	担当課	取組み内容	成果	課題
「久喜市立図書館の基本的運営方針」の効果的な推進	13	市民に伝える図書館の推進 (指定管理者制度導入4年目)	生涯学習課	多様な資料や情報を積極的に収集し、市民に分かりやすい情報を提供しました。 ・資料の充実 ・郷土資料の充実 ・行政資料の収集 ・他自治体図書館等との連携	・図書館4館の特色を考慮し、各館が連携して選定と収集をすることができました。 ・寄贈での対応をすることで郷土資料・行政資料の収集を行いました。 ・市立図書館で所蔵していない図書を他の自治体から取り寄せて提供しました。 (人口一人あたりの貸出冊数 4.78冊)	・人口一人あたりの貸出冊数が昨年度より減少しています。(令和3年度の人口一人あたりの貸出冊数 4.88冊) ・市民のニーズを踏まえた選定を行いながら、一般流通のない郷土資料や行政資料にも目を配り、4館で連携しながら、所蔵資料の充実に努める必要があります。
	14	市民を支える図書館の推進 (指定管理者制度導入4年目)	生涯学習課	市民が生活する上で必要な情報を適切な方法で提供し、様々な相談や課題を解決できる情報拠点を目指しました。 ・課題解決型支援の充実 ・高齢者、障がい者、外国人に対する支援 ・市内で活動する人、団体、企業等への活動支援	・図書館で受けたレファレンス内容を「レファレンスデータベース」に入力し、情報を共有することで、類似レファレンスを受けた際に、質問へのプロセスや回答の参考としています。 ・栗橋文化会館図書室でバリアフリー映画会(字幕・音声ガイド付きの映画)を実施しました。 (レファレンスに対する利用満足度 50.5%)	・レファレンスサービスを利用したことがない方に対して、気軽に利用してもらえるような環境づくりやレファレンスに対応できる司書の育成が必要です。 ・電子図書館の便利な読み上げ機能や拡大表示機能を活用することでバリアフリーサービスに努めます。 ・サビエ図書館に加入し、点字図書やデジタイズ録音図書の提供を行うことで、障がい者サービスの向上を図ります。
	15	市民が集う図書館の推進 (指定管理者制度導入4年目)	生涯学習課	久喜市に住み、働き、学び、活動する多様な人々が、それぞれの目的に応じ図書館を活用できるよう支援しました。 ・魅力ある事業の実施 ・多様な学習機会の提供 ・市民との協働	・図書館4館で、子ども、大人、親子と各世代別に事業を実施しました。 ・令和4年5月から、菖蒲図書館と鷲宮図書館に育児コンシェルジュ(保育士等)を配置することで、育児相談や司書と連携した本の案内を行い、図書館利用や貸出につなげました。 ・中央図書館でボランティア向けのスキルアップ講座を実施しました。	・市民の要望に沿った事業を実施し、事業参加者数の増加に努めます。 ・育児コンシェルジュのような図書館利用をサポートするサービスを充実し、子育て世代の利用拡大に努めます。 ・図書館事業や図書館サービスを多くの市民に知ってもらうため、他の公共施設や団体と協力、連携した取り組みを行う必要があります。 ・ボランティア団体と協力して行う事業を計画します。
	16	子どもの成長を応援する図書館の推進 (指定管理者制度導入4年目)	生涯学習課	子どもの成長過程に応じたサービスを提供することで、子どもの読書環境の充実と活動支援をしました。 ・子どもたちの読書環境の充実 ・子どもたちの読書活動への支援 ・学校等との連携	・「第2回久喜市図書館を使った調べる学習コンクール」を開催し、25校の小・中学校から892作品の応募があり、入賞の12作品を全国コンクールに推薦しました。そのうち2作品は優良賞を受賞しました。 ・学校給食センターと連携し、読書週間に合わせて「おはなし給食」を実施し、ブックリストの作成や関連本の展示を行いました。 ・市内全小学校へ訪問し、要望に沿ったテーマでブックトークやおはなし会を実施しました。 (学校への団体貸出冊数 1,040冊) (学校訪問事業実施小学校数 21校)	・「第3回久喜市図書館を使った調べる学習コンクール」を開催し、全ての小・中学校から作品が応募されるよう、ホームページ、図書館だより等での広報や校長会、図書主任への説明、学校や図書館での「調べる学習講座」を計画します。 ・学校への団体貸出数が昨年度より減少しています。(令和3年度の学校への団体貸出冊数 1,124冊) ・GIGAスクールに対応し、電子図書館を利用した読書活動を支援するため、学校との連携を強化していく必要があります。

令和4年度生涯学習関係事業報告書

第2期久喜市教育振興基本計画[平成30年度～令和4年度]

基本目標 5 豊かな生き方を築く生涯学習の推進
 施策 5 図書館サービスの充実

具体的施策	連番	取組み	担当課	取組み内容	成果	課題
「久喜市立図書館の基本的運営方針」の効果的な推進	17	ICTの利活用 (指定管理者制度導入4年目)	生涯学習課	情報提供の高度化・迅速化に対応できるような設備を充実させ、ICTのさらなる活用を進めました。 ・市民への情報発信 ・インターネット利用環境の整備 ・データベースを利用した情報検索 ・久喜市電子図書館の充実	・中央図書館で「やさしい電子図書館使い方講座」を実施し、久喜市電子図書館の周知と利用向上に努めました。 ・「久喜市デジタルアーカイブ」では、令和4年5月に図録『中島撫山関係資料』について、令和5年3月に鷲宮神社関係資料について公開しました。 ・電子図書館の利用促進を図るため、同時に同一コンテンツを読むことのできる「児童書読み放題パック」を導入しました。学校の朝読書や授業等での利用を想定しています。 ・電子図書館の利用促進のため、モデルケースとして久喜小学校6年生に、学校と連携した図書館利用登録を実施しました。 (電子図書館タイトル数 3,647点)	・ICTのさらなる活用を進め、図書館サービスを向上させることで、新たな利用者獲得につなげます。 ・図書館ホームページ、図書館ツイッター等のSNSを活用し図書館サービスの広報に努めます。 ・電子書籍の特色を考慮した選定・収集を行い、電子図書館の魅力をPRしていく必要があります。 ・学校と連携し、児童の電子図書館の利用拡大を図ります。
	18	図書館環境の整備 (指定管理者制度導入4年目)	生涯学習課	計画的な修繕をしていくことで継続的に施設を使用しました。 また、より快適で利用しやすい図書館づくりを行いました。 ・施設、設備の改修 ・管理運営体制の確認 ・多様な読書環境の整備 ・職員の資質、能力の向上 ・探しやすい資料配置	・修繕の必要箇所を把握し、休館日等を利用して工事を行いました。 ・書架整理を継続し、資料が探しやすくなるよう閉架書庫への除架を進めました。老朽化した図書については適宜除籍を行いました。 ・子育て世代が気兼ねなく利用できるよう、授乳やおむつ替えができるベビーケアルーム「mamaro」を令和4年4月に菖蒲図書館と鷲宮図書館に設置しました。	・改修箇所を把握し計画的な修繕が行えるよう、日頃から施設の点検を実施していきます。 ・日常の書架整理を継続し、適宜、閉架スペースへの除架、資料価値や利用履歴等から判断して資料の除籍をすることで、図書館資料の入れ替えを行い、市民が必要としている資料を提供していきます。

令和4年度生涯学習関係事業報告書

第2期久喜市教育振興基本計画[平成30年度～令和4年度]

基本目標 5 豊かな生き方を築く生涯学習の推進

施策 7 放課後子ども教室の推進

具体的施策	連番	取組み	担当課	取組み内容	成果	課題
放課後子ども教室の推進	19	学校・家庭・地域が連携し、子どもたちが健やかに育まれる環境づくりの推進 (18年目)	生涯学習課	<ul style="list-style-type: none"> ・全校が感染症対策を講じて実施し、オンラインや動画配信など工夫した講座も実施されました。 ・運営委員会や事務局職員が実施委員会や活動日に訪問し、各放課後子ども教室の活動を支援しました。 (講座数322、実施委員及びサポーター数2,176人) 	<ul style="list-style-type: none"> ・各実施委員会で円滑な運営に係る情報を相互に共有することができました。 ・各放課後子ども教室で、地域住民や異学年の児童と楽しく学んだり遊んだりし、交流を図ることができました。 	<ul style="list-style-type: none"> ・指導者、サポーターの人材確保及び高齢化や子どもたちに好奇心、探求心を持たせる新講座開発が課題です。 ・実施委員、サポーター、参加児童などの名簿作成といった事務作業の軽減化が課題です。
	20	安全・安心な活動拠点の確保と調整 (18年目)	生涯学習課	<ul style="list-style-type: none"> ・実施委員、サポーター等を対象とした他の放課後子ども教室を参観する見学会を実施し講座内容を共有しました。 ・情報交換会を実施し、課題を共有しました。 ・運営委員会等で安全指導の資料を配布し、情報共有をしました。 	<ul style="list-style-type: none"> ・情報交換会では、58名が参加し、「各ゆうゆうプラザの現状と課題について」をテーマに話し合い、今後の活動に生かすことができました。 	<ul style="list-style-type: none"> ・見学会では、なるべく多くの人が参加できるように日程を調整することが課題です。 ・情報交換会では、現状の課題を的確に把握することが課題です。
放課後子ども総合プランの推進	21	放課後子ども総合プランの実現に向けた連携と調整 (9年目)	生涯学習課	<ul style="list-style-type: none"> ・放課後児童健全育成事業(放課後児童クラブ)と、学習や体験や交流活動などを行う事業(放課後子ども教室)との連携を図るとともに、関係部局と運営方法について、調整を図りました。(一体型18校、連携型3校) 	<ul style="list-style-type: none"> ・放課後子ども教室を開催するにあたり、放課後児童クラブと連携して実施することができました。 	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校の余裕教室等の活用や、教育と福祉との連携方策等について検討していく必要があります。 ・放課後児童クラブに参加する多くの児童が、放課後子ども教室に参加できるよう、講座内容や開催方法を工夫するなどし、学童との連携を一層図っていく必要があります。

具体的施策	連番	取組み	担当課	取組み内容	成果	課題
地域学校協働活動の推進	22	学校と地域をつなぐコーディネーターを地域学校協働活動推進員として委嘱し、「学校を核とした地域づくり」を推進します。 (2年目)	生涯学習課	<ul style="list-style-type: none"> ・地域住民等や学校関係者との連絡調整、活動の企画・調整を行いました。 ・情報交換会を実施し、課題を共有しました。 	<ul style="list-style-type: none"> ・情報交換会では、34名が参加し、「各中学校区の現状と課題について」をテーマに話し合い、今後の活動に生かすことができました。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校運営協議会と学校応援団と教職員が一同に会って活動の方針や問題点を話し合っていく必要があります。 ・地域活動に従事されている方の高齢化や後継者の育成が課題です。

令和4年度生涯学習関係事業報告書

第2期久喜市教育振興基本計画[平成30年度～令和4年度]

基本目標 6 歴史・文化の継承と活用
 施策 2 文化芸術活動等の充実

具体的施策	連番	取組み	担当課	取組み内容	成果	課題
文化芸術活動の成果発表及び鑑賞する機会の充実	23	美術展(絵画等・書・写真)の実施 (12年目)	生涯学習課	美術展を以下のとおり実施しました。 【絵画・彫刻・工芸】 開催日: R4. 10. 12(水)～10. 16(日) 会場: 久喜総合文化会館広域文化展示室、視聴覚ライブラリー室、研修室3 (出品数92点、入場者数476人) 【書】 開催日: R4. 10. 20(木)～23(日) 会場: 久喜総合文化会館広域文化展示室 (出品数98点、入場者数472人) 【写真】 開催日: R4. 11. 15(火)～20(日) 会場: 久喜総合文化会館広域文化展示室 (出品数119点、入場者数358人)	<ul style="list-style-type: none"> ・文化芸術の分野で活動する方に、日頃の創作活動の成果を発表する機会を提供することができました。 ・市民に文化芸術を鑑賞する機会を提供することができました。 	一般の方からの出品が増加するよう、周知方法等を検討していく必要があります。
	24	吹奏楽フェスティバルの実施 (31回目)	生涯学習課	埼玉県芸術文化祭地域文化事業参加事業として『音楽の街・久喜市』吹奏楽フェスティバルを実施しました。 開催日: R4. 11. 13(日) 会場: 久喜総合文化会館大ホール 入場者数: 954人 ライブ配信視聴回数: 1,860回 (出演団体13団体: ①久喜中学校②久喜東中学校③太東中学校④菖蒲中学校⑤栗橋東中学校⑥鷺宮中学校⑦鷺宮西中学校⑧鷺宮東中学校⑨久喜高等学校⑩鷺宮高等学校⑪久喜北陽高等学校⑫久喜シンフォニックウインズ⑬花咲徳栄高等学校)	<ul style="list-style-type: none"> ・来場者数の制限等、新型コロナウイルス感染対策を施した上で、3年振りに有観客で開催しました。 ・来場者数の制限に伴い来場できない方のために、オンラインにてライブ配信を行いました。 ・市内の中学校や高等学校、社会人の吹奏楽団体に、日頃の活動の成果を発表する機会を提供することができました。 ・市民や県民に、良質でレベルの高い吹奏楽演奏を鑑賞する機会を提供することができました。 	<ul style="list-style-type: none"> ・来場者数の制限を撤廃した通常どおりの方法での開催に向けて調整していく必要があります。 ・インターネットライブ配信を継続するとともに、姉妹都市のローズバーグ市に向けても周知を行います。

令和4年度生涯学習関係事業報告書

第2期久喜市教育振興基本計画[平成30年度～令和4年度]

基本目標 6 歴史・文化の継承と活用
 施策 4 文化財の保存・継承

具体的施策	連番	取組み	担当課	取組み内容	成果	課題
指定文化財の保護活動への支援	25	指定文化財の管理等に対する補助等 (13年目)	文化財保護課	指定文化財(国指定文化財4件、県指定文化財19件、市指定文化財74件)の管理に対して、所有者・管理者に補助金または交付金を交付しました。	指定文化財(国指定文化財4件、県指定文化財19件、市指定文化財74件)の管理に対し、所有者・管理者に補助金または交付金を交付しました。	今後も、指定文化財を適切に保存・継承していくため、所有者や管理者に補助金や交付金を交付するなどの支援をしていく必要があります。
埋蔵文化財包蔵地の適切な保存	26	試掘・発掘調査の実施 (13年目)	文化財保護課	開発行為から埋蔵文化財を保護するため、埋蔵文化財包蔵地等で試掘調査を実施しました。	埋蔵文化財包蔵地内の開発申請によって、当該包蔵地の試掘を8回実施しました。	試掘により確認した結果、当該地に遺構等が発見され本発掘を実施する必要がある場合の対応を検討しておく必要があります。
指定無形民俗文化財の後継者育成・伝承活動への支援	27	鷺宮催馬楽神楽伝承教室の開催 (13年目)	文化財保護課	国指定重要無形民俗文化財鷺宮催馬楽神楽の後継者を育成するため、伝承教室を開催しました。	伝承教室を次の内容で開催しました。 期日：令和4年8月31日(水)、9月7日(水)・14日(水)・16日(金)・21日(水)、10月5日(水)・12日(水)・19日(水)・21日(金)・23日(日) 会場：郷土資料館視聴覚ホール ※10月23日(日)は鷺宮文化祭(鷺宮公民館大ホール)にて練習成果を発表 演目：第二座(天心一貫本末神楽歌催馬楽之段) 講師：鷺宮催馬楽神楽保存会 定員：20人 参加者数延べ：79人	今後も、国指定重要無形民俗文化財の後継者育成については、前向きに検討していく必要があります。

基本目標 6 歴史・文化の継承と活用
 施策 5 文化財の活用

具体的施策	連番	取組み	担当課	取組み内容	成果	課題
指定文化財に関する情報の発信	28	「広報くき」やホームページなどでの情報の発信 (13年目)	文化財保護課	郷土の歴史や文化財を市民に周知するため、「広報くき」やホームページなどを活用して情報を発信しました。	・「広報くき」に、毎月「歴史だより」を連載し、郷土の歴史や文化財に関する情報を市民に発信しました。 ・市ホームページに、上記「歴史だより」を掲載し、市内外に紹介しました。	市民が興味を持ちやすい郷土の歴史や文化財に関する正しい情報を、今後も継続して発信していく必要があります。
	29	市指定文化財「吉田家水塚」の公開 (11年目)	文化財保護課	市指定文化財「吉田家水塚」を周知するため、適切に公開しました。	・一般観覧を、土曜日及び日曜日(102日公開)に実施し、603人の見学者がありました。 ・平日の執務時間中における団体対応については、197人の見学者がありました。	建物の老朽化については、文化財保護審議会とともに検討していく必要があります。
指定文化財の説明板の整備	30	指定文化財案内板の設置等 (13年目)	文化財保護課	指定文化財の周知・活用を図るため、説明板を設置しました。	市指定文化財「八坂神社の神輿」の説明板を1基設置しました。	説明板の設置状況を把握し、劣化状況等に応じて適切に対応する必要があります。

令和4年度生涯学習関係事業報告書

第2期久喜市教育振興基本計画[平成30年度～令和4年度]

基本目標 6 歴史・文化の継承と活用
 施策 6 郷土資料館の充実

具体的施策	連番	取組み	担当課	取組み内容	成果	課題
展示の実施等による所蔵資料の活用	31	特別展等の開催 (13年目)	文化財保護課	特別展や収蔵品展の開催等により収蔵資料の活用を推進し、地域の特徴ある歴史文化を市民に紹介しました。	特別展等の展示を次の内容で開催しました。 ①収蔵品展「ちよつとむかしの道具たち～暮らしと祭り～」 ②連携展示「明治天皇と久喜」 ③スポット展「あのと流行ったおもちゃ展」 ④第12回特別展「敦 中島家の系譜—中島敦没後80年—」 ⑤収蔵品展「ちよつとむかしの道具たち」 ⑥スポット展「うつりゆく鷲宮神社」 期間:①4月1日～7月6日②7月20日～9月4日③8月11日～9月11日④10月8日～12月4日、⑤1月5日～3月30日⑥2月25日～3月30日 来館者数:①1,744人②1,521人④2,196人⑤1,602人	予算のある特別展の開催だけに限らず、可能な範囲で収蔵品展やスポット展などの小規模な展示を企画するなど、市民に積極的に所蔵資料を紹介していく必要があります。
市の歴史を紹介する講座の開催等	32	古文書学習会の開催 (8年目)	文化財保護課	市民の生涯学習活動を支援するため、古文書学習会を開催しました。	古文書学習会を次の内容で開催しました。 期日:令和4年5月20日(金)、6月3日(金)・17日(金)、7月1日(金)・15日(金)、9月16日(金)、10月7日(金)・21日(金)、11月18日(金)、12月2日(金)・16日(金) 会場:郷土資料館視聴覚ホール 講師:林貴史さん 定員:28人 参加者数延べ:261人	今後も地域の古文書に親しんでもらえる講座を開催するなど、郷土資料館に興味関心をもつ人を増やしていく必要があります。

令和4年度生涯学習関係事業報告書

第2期久喜市教育振興基本計画[平成30年度～令和4年度]

基本目標 7 生涯にわたるスポーツ・レクリエーション活動の充実

施策 1 スポーツ・レクリエーション施設の充実

具体的施策	連番	取組み	担当課	取組み内容	成果	課題
学校体育施設の利用の促進	33	学校体育施設の開放促進 (13年目)	スポーツ振興課	市民の身近なスポーツ・レクリエーション活動の場の確保を図るため、学校と連携し、学校体育施設の開放を促進しました。 (利用者目標216,000人)	学校及び利用団体と調整を図りながら、市内全小中学校(32校)の学校体育施設の開放を実施しました。 延べ利用者数 138,476人(令和5年3月31日現在)	学校体育施設の老朽化により、修繕の実施件数が増えています。 昇降式バスケットゴール 3件、トイレ 3件、夜間照明 2件

基本目標 7 生涯にわたるスポーツ・レクリエーション活動の充実

施策 2 スポーツ・レクリエーション活動への参加機会の充実

具体的施策	連番	取組み	担当課	取組み内容	成果	課題
スポーツ・レクリエーション大会・教室等の充実	34	スポーツ・レクリエーション大会、教室等の開催 (13年目)	スポーツ振興課	誰もが気軽にスポーツ・レクリエーションに参加できる機会を提供するため、綱引大会、ニュースポーツ教室等を開催しました。 (参加者目標19,800人以上)	令和4年11月20日(日)にくき健康ウォーク、令和5年2月26日(日)にスポーツ体験会を開催しました。 くき健康ウォーク 参加者 98人 スポーツ体験会 参加者延べ人数 85人	スポーツ・レクリエーション活動に対する市民ニーズが多様化しているため、市民ニーズを把握、反映させて大会や教室を企画していく必要があります。
	35	スポーツ体験教室等の開催 (13年目)	スポーツ振興課	多くの市民に、都市宣言の趣旨をご理解いただき、あらゆる世代の誰もがスポーツや運動を通じて健康づくりに取り組めるよう、啓発の機会として体験教室等を開催しました。	○フェンシング×サッセン体験イベント 令和4年5月28日(土)、モラージュ菖蒲、参加者43人 ○3×3 KUKI HIGH SCHOOL CHAMPIONSHIPS 2022 令和4年10月22日(土)、モラージュ菖蒲、参加者64人 ○デジタルスポーツ×フレイル予防イベント 令和4年12月25日(日)、アリオ鷺宮、参加者25人 ○フレイル予防講座 令和5年1月19日(木)、中央公民館、参加者11人 ○卓球体験イベント 令和5年2月4日(土)、モラージュ菖蒲、参加者49人 ○卓球体験レッスン 令和5年2月6日(月)、毎日興業アリーナ久喜、参加者28人	スポーツ・レクリエーション活動に対する市民ニーズが多様化しているため、市民ニーズを把握、反映させて大会や教室を企画していく必要があります。
スポーツ・レクリエーションに関する情報収集と広報活動の充実	36	スポーツ・レクリエーションに関する情報収集 (13年目)	スポーツ振興課	・イベント終了後にアンケート調査を実施する等、的確な市民ニーズの把握に努めました。	令和4年11月20日(日)くき健康ウォーク 参加者98人中、70人からアンケート回収 開催時間や歩行距離などについて、概ね良好の意見を頂きました。 令和4年11月6日(日)ポール・ウォーク体験 参加者に対し口頭での意見聴取を行いました。 歩行距離がちょうどよかったとの意見を頂きました。	スポーツ・レクリエーション活動に対する市民ニーズが多様化しているため、市民ニーズを把握、反映させて大会や教室を企画していく必要があります。
	37	動画・SNSなどによる運動・スポーツ情報の発信	スポーツ振興課	動画の作成やSNSアカウントの運営を通じて、市民に必要とされる運動・スポーツ情報を親しみやすく発信しました。	・久喜市公式スポーツ専用Instagram「くきスポ！」 令和4年4月1日(金)～令和5年3月31日(金) 投稿総数 30件	スポーツイベントなどの情報を、より多く発信できるよう動画投稿数を増やしていく必要があります。

令和4年度生涯学習関係事業報告書

第2期久喜市教育振興基本計画[平成30年度～令和4年度]

基本目標 7 生涯にわたるスポーツ・レクリエーション活動の充実
 施策 3 スポーツ・レクリエーション活動を通じた市民交流の促進

具体的施策	連番	取組み	担当課	取組み内容	成果	課題
久喜マラソン大会の開催	38	久喜マラソン大会の開催 (13年目)	スポーツ振興課	久喜マラソン大会を開催し、内容等の充実を図りました。 (参加者目標6,000人)	市内・外から多くのランナーにご参加いただき、市のスポーツ振興と市の認知度の向上を図ることができました。 【事業】 期日：令和5年3月26日(日) 会場：久喜市総合運動公園(スタート・ゴール) 種目：ハーフマラソン・クォーター・3km・1.5km・1.5km親子ペア エントリー数：3,287人	・雨天の開催だったため、ゴール付近のコンディションが悪かったことや出店ブースの配置など、雨天開催を踏まえ検討する必要があります。 ・また、参加ランナーやボランティアの方が利用できるトイレをコース上に配置できるかどうか検討する必要があります。
地区体育祭の開催	39	地区体育祭の充実 (令和元年度まで10年間開催)	生涯学習課 (公民館事業推進室)	市民体育祭等のスポーツ・レクリエーション大会・イベント等の充実を図り、各スポーツ・レクリエーション団体、関係機関等と連携し、多くの市民が参加できる市民体育祭等、スポーツ・レクリエーションの大会やイベント等を実施しました。	令和4年度は、令和3年度に引き続き、新型コロナウイルスの影響により、開催を予定しておりました8地区(中央・青葉・江面・清久・東・森下・栗橋・鷲宮各地区)すべてで中止となりました。	3年連続で全地区中止となったことにより、地域の関係各団体と協議の場を設ける必要があります。また再開に向け具体的な改善案を検討していく必要があります。
多くの市民が参加できるスポーツ大会等の開催	40	スポーツ・レクリエーション大会、教室等の開催 (13年目)	スポーツ振興課	・誰もが気軽にスポーツ・レクリエーションに参加できる機会を提供するため、綱引大会、ニュースポーツ教室等を開催しました。 (参加者目標19,800人以上)	○新体カテスト 令和4年9月18日(日)、鷲宮体育センター、参加者15名 スポーツ庁の実施要項に基づき、年代別に6種目を実施しました。 ○ハイキング【中止】 令和4年11月13日(日)、国営武蔵丘陵森林公園、申込者3人 中止理由 最小催行人数(5人)に達しなかったため。 ○ポール・ウォーク体験 令和4年11月6日(日)、鷲宮総合支所周辺、参加者5人 久喜市コミュニティ広場～加須はなさき公園まで(往復)のポールを使ったウォーキングを実施しました。 ○くき健康ウォーク 令和4年11月20日(日)、いきいき活動センターしずか館、参加者98人 しずか館をスタート・ゴールとした5km、10kmのコースのウォーキングイベントを実施しました。	・参加者について、最小催行人数に達せず中止となってしまった事業もあったため、参加者人数が増えるよう周知方法を検討する必要があります。 ・くき健康ウォークについて、令和5年度新たにフォトロゲイニングという競技を取り入れる予定です。新たな取り組みとなるため、大勢の方に参加いただけるように工夫する必要があります。